

県立博物館第2回企画展

太古の生きものたち

—フタバスズキリュウがいた いわきの海—

会 期 7月6日(金)～9月2日(日)

福島県の浜通り地方には、古生代から新生代までのおよそ4億年にわたる地層があり、そこから豊富で多彩な化石が見つっています。この企画展では、これらの化石を通して、太古の生物の様子とそれらの生きていた環境を解き明かしてゆきます。

展示の主なテーマは次のとおりです。

1. クジラ の海 (約500万年前まで)	クジラなどの海生の哺乳類の活躍した時代
2. 象 のいた頃 (約500万年～2400万年前)	ステゴロフォドンという古代の象のいた時代
3. 海鳥 の浜辺 (約2400万年～6400万年前)	ペンギンモドキ類などの海鳥のいた時代
4. 恐竜 の大地とアンモナイトの海 (約6400万年～1億2000万年前)	恐竜やフタバスズキリュウ、アンモナイトの活躍した時代
5. サンゴ の海 (約1億2000万年～1億8000万年前)	サンゴの育った暖かい海の時代
6. 三葉虫 の海 (約2億4000万年～3億5000万年前)	古生代の三葉虫、腕足類、紡錘虫など、本県最古の動物たちがいた時代

なお、7月15日(日)には、恐竜博士として有名な、横浜国立大学の長谷川善和教授の講演も予定しています。

〈写真説明〉

上段 フタバスズキリュウ頭骨 (国立科学博物館蔵) 白亜紀玉山層いわき市大久町

中段右 アンモナイト (県立博物館蔵) 白亜紀玉山層いわき市大久町

左 三葉虫 カンブリア紀モロッコ共和国

下段 フタバスズキリュウ生態図

